

株式会社 テクノネットワーク

自社データセンターの強みを活かし、Magic uniPaaS®による RIA 開発でクラウドサービスを展開

株式会社テクノネットワークでは、浄化槽管理システムと歯科技工士向けシステムを Magic uniPaaS® RIA で構築しました。

浄化槽管理システムを40余りの業者が共同利用

北九州市に本社を構える株式会社テクノネットワークは、本社と福岡、長崎の各営業所を拠点に、システムの受託開発を中心に事業を發展させている会社です。2002年には、データセンターを設立し、ハウジングやホスティングなど、サーバー管理からIP網の構築まで、システム開発をトータルでサポートできる環境を整備しています。

最初にテクノネットワークが Magic uniPaaS で開発した RIA システムは、浄化槽管理システムです。2009年の3月に長崎県で導入され、40余りの業者が共同利用しています。浄化槽の点検には、法律で定められている法定検査と、点検清掃業者が行うものと2種類があります。法定検査は、財団法人などの検査機関が行っており、別途浄化槽の保守点検や清掃を行う清掃業者が定期的に浄化槽の点検整備を行っています。テクノネットワークが構築した浄化槽管理システムは、浄化槽管理事業者が登録している浄化槽協会に Web ベースのシステムがおかれています。そのシステムに付随して、点検清掃業者が使う二次管理システムを RIA で開発し、法定検査の情報と、各業者が行った際の点検清掃情報、そして浄化槽の基本情報を Web 上で一元的に見られる仕組みを作り上げています。また、多い場合には100を超す浄化槽の点検項目に対応するため、ネットブックなどのモバイル PC での点検入力にも対応しています。二次管理システムを RIA で構築した理由について、ビジネスソリューション部営業

杉山陽三氏は、「システム業界は常に新しい技術に挑戦していかなければ生き残れない業界です。初めての試みでしたが、良い機会だから挑戦してみようと RIA での構築に踏み切りました。」

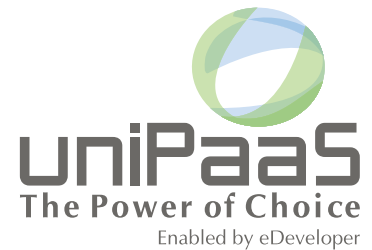
RIA 開発ツールに Magic uniPaaS を採用

RIA 開発には、Magic uniPaaS を選択しました。ビジネスソリューション部ソリューションサポート課 高橋 宴氏は言います。

これまでクライアント/サーバ型アプリケーションをネットワーク越しで展開するにはシンクライアントベースのソリューションを利用していましたが、その場合ファイヤーウォールのポート番号の競合や、ローカルプリンターへの出力など、注意が必要な問題がいくつかありました。しかし、Magic uniPaaS の RIA が使うポートは通常の Web アプリと同じ 80 番ですし、ローカルプリンター出力もマジックソフトウェア・ジャパンが開発した ReportsMagic を使えばどんなプリンターでも楽に導入できます。特に ReportsMagic は入社したての新人が2週間で使いこなしていましたので、強力で生産性の高いツールだと感じました。

データセンターやネットワークの取り組みが受注の鍵に

浄化槽管理システムは、テクノネットワークのデータセンターに置かれています。テクノネットワークでは、データセンターに加えて、地域 IP 網や、高セキュリティ回線網(セキュアネットワーク)の構築も行っています。浄化槽管理システムは、総合評価入札方式により開発業者



USER PROFILE



株式会社 テクノネットワーク

<http://www.web-tnw.co.jp/>

- 本社 福岡県北九州市戸畑区中原新町2番1号北九州テクノセンタービル503号
- 設立 1992年9月10日
- 資本金 1,500万円
- 事業内容
 - ・パソコンLANに関する一切の業務
 - ・コンピュータおよびOA機器の販売、保守
 - ・コンピュータのソフト開発、販売、保守
 - ・コンピュータ技術教育
 - ・コンピュータおよびOA機器に関する消耗品の販売
 - ・各種コンピュータシステムの導入に関するコンサルタント業務
 - ・上記に付帯する一切の業務



杉山陽三氏
株式会社テクノネットワーク
ビジネスソリューション部
営業



高橋宴氏
株式会社テクノネットワーク
ビジネスソリューション部
ソリューションサポート課

株式会社 テクノネットワーク

が決められる案件でしたが、センターの高いレベルのセキュリティと、ネットワークのノウハウ等、多くの実績を活かした総合的な提案内容が評価を受け、成約できました。

「当社は10年前からセンター型のシステム開発を行っています。データセンターを持っている会社は他にもありますが、これまでのシステム開発実績と、ネットワーク回線、またセキュリティを考えた上で設計し、提案できたというのは大きいと思います。」(杉山氏)

「セキュリティに関しては、Web上のシステムを入り口とし、センター経由でサーバーにアクセスして、セキュアネットワークに繋ぎ、サーバー証明書を確認してWebシステムの画面が開くようになっています。さらに、HTTPSを使って、ID・パスワードを入力して頂くことで、初期メニュー画面が表示されるようになっています。ご提案時から、特にセキュリティ部分には徹底配慮しました。浄化槽管理システムは、浄化槽の設置者、技術者、管理者等の多くの個人情報に伴います、当社のセキュリティに対する万全な取り組み方や多くの実績が安心感となり高い評価を頂いた結果だと理解しています。」(高橋氏)

歯科技工士システムをRIAで構築

RIAによるクラウドサービスの第二弾は、歯科技工士向けのシステムです。2010年の4月からテスト稼働し、5月に本稼働しました。お客様の事業環境は、10営業所と、技工士300人を超える技術者を抱えた、業界トップクラスの規模を持った企業です。歯科技工士は、歯科医からの指示を受けて歯型を製作します。歯科技工士シ

ステムでは、歯科医からの指示情報を入力すると、歯形の作業工程が自動的に作表できます。また、実際に作業した内容を入力すると、売上状況表が自動的に作成され、納品書が出力できる仕組みになっています。管理面では原価管理・資材一括発注処理や財務との連携、また課題が多かった在庫管理まで包含した総合管理システムです。以前は、営業所毎に異なるパッケージソフトを運用しており、各営業所間では、人手による情報交換、また、Excelで作表した個別管理表などに依存しなければなりません。そこで、RIAのシステムを構築し、情報を一元化することで、工程管理業務が整理されたことで、現場と間接部門の業務のスピードアップと品質向上を図ることができました。全社の生産性と業務品質を高め、顧客満

足にお役に立っています。

今後の展開について、杉山氏は、次のように語ります。

「浄化槽管理システムは、考え方や実績が評価され他3県でも検討が進み、導入機運が高まっています。今後、全国に向けてスピードアップした事業推進をして行く予定です。

歯科技工士システムについては、新しい事業方式として、歯科技工の外注先に対してフランチャイズ方式に参加していただき、歯科技工作業と本システムによる業界ネットワーク化による統合化をテーマとした検討を進めていきます。

又、関心が高い携帯電話やiPhone、iPadなども、お客様のご要望に合わせて、新しいシステム端末として対応できるように鋭意研究開発を進めて参ります。

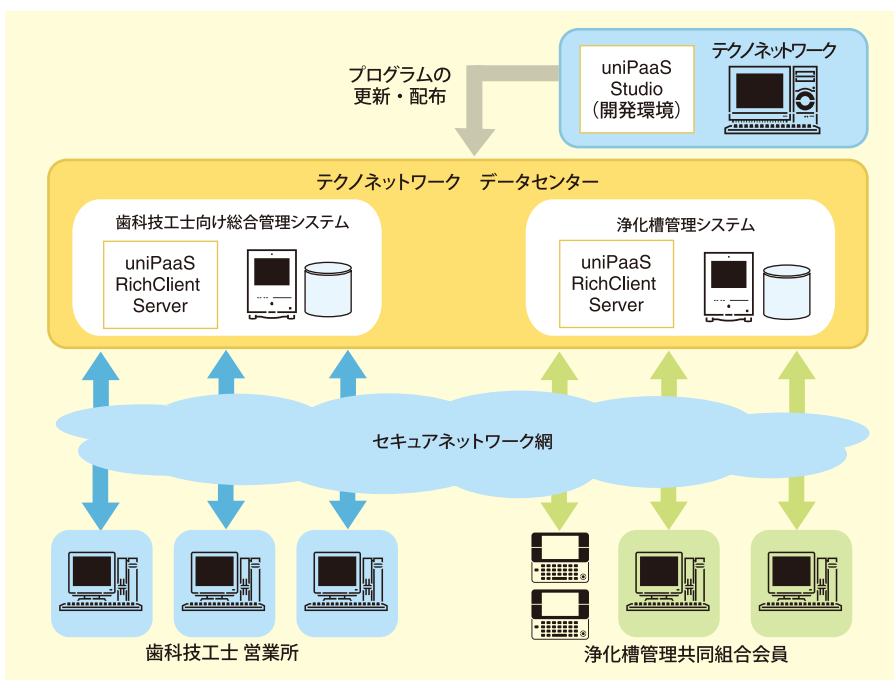


図 株式会社テクノネットワークの浄化槽管理システムと歯科技工士システムの概要